第三小学校だより



# はなみずき



No. 5

令和7年9月4日 (館林市立第三小学校 TEL 72-4063・FAX 72-4378)

## 元気よく2学期のスタートです!

充実の2学期へ

# ー人一役 誰もが主人公

2学期の僕・私



長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。久しぶり再会となった人もいたと思いますが、 みなさんの登校の様子をみていると、嬉しそうに再 会を喜ぶ様子がみられ、嬉しく思いました。

始業式では、主に2つのことを話しました。 1つは、「戦後80年」という節目を迎えたこの夏を 振り返り、日本で起きたこの体験を忘れず、笑顔で 平和な日本であるように、私たち一人ひとりが「平 和って何だろう」と考え続けることが大切ではない でしょうかという話をしました。



もう1つは、2学期の学校生活でのみな事なるの願いを話した。たさりと果たさんの行事はある中で、自分の役割をしかりと果できませる。2学期にできないで、充実した2学期によりでで、たとして、として、そのためにも早く学校生活のリストンにではしてほしいと伝えました。「2学期」はないと伝えました。「2学期」など、まりでは、そのためにもました。「2学期」などでは、そのためにもました。「2学期」などでは、そのためにもました。「2学期」などでは、2学期の学校生活でのようには、2学期の学校生活でのようには、2学期の学校生活でのようには、2学期の学校生活である。「2学期の学校生活である。これでは、2学校生活である。これでは、2学校生活である。これでは、2学期の学校生活である。これでは、2学校生活である。これでは、2学校生活では、2学校生活である。これでは、2学校生活では、2学校生活では、2学校生活では、2学校生活では、2学校生活では、2学校生活では、2学校生活である。これでは、2学校生活では、2学



## 青少年赤十字トレーニングセンター

於:館林市総合福祉センター 7/24(金)





### 第2回学校運営協議会 -運営委員の皆さんと教職員も参加して実施- 7/23(水)

第2回学校運営協議会を7月23日(水)に実施しました。今回は学校評価結果か ら、『子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくり』という熟議テーマで、学 校の安全管理・危機管理の現状と課題について活発な意見交換をすることができまし た。具体的には、4つの視点からグループ編成を行い、それぞれの立場から運営委員 の方々のご意見を伺いながら、中身の濃い話し合いができました。その概略と方向性 は以下のようなものです。ご確認ください。(班で重複した意見は一つにまとめました。)

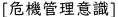
#### | .不審者対応・登下校の安全

「防犯カメラ]

・増設設置要請を今後の継続。

#### 「登下校]

- ・危険個所の確認や一人になるタイミングを減らす工夫 を家庭と学校連携。
- ・不審者対応の観点から、登校時の体操名札記名の自由 化。(※個人特定に不安がある場合、体操着の胸部分 など目立つ箇所への記名はなしでもよいとし、誰のも のか確認できるようどこかに記名)



「いかのおすし」の周知と行動化に向けて、形骸化し ないような防犯避難訓練や出前授業等の講座設定。

#### [情報の迅速な共有]

・保護者+地域関係者の方にも home & school 登録 してもらい、情報共有と連携強化。。

#### 「連携・安全協力の家」

・突然のゲリラ豪雨や熱中症など緊急時の安心協力の家 の方に、区長さん協力のもと再確認。

#### [見守りボランティア]

・新規ボランティアさんの募集。

#### 2.防災教育

#### 「防災訓練]

・地域や保護者の方と連携した行動訓練も必要生。今年度は、手始めに3.4学年 で学校公開時に青少年赤十字ボランティアに依頼し、防災教育プログラムを実施。

#### [緊急時体制確認]

- ・緊急災害時避難場所について、学校・家庭・地域それぞれで再度確認。
- ・あわせて、引き渡し訓練についても安全に引き渡すための体制を再確認。 「防災用品備え」

- ・何が必要なのか、必要グッズー式写真掲示等の周知方法を工夫。
- 3.熱中症・気象災害対応

#### 「水分補給〕

・いつでも、どこでも補給できるよう学校や家庭で声掛け。

#### 「生活習慣]

・十分な睡眠、バランスよい食事の大切さについて学校・家庭ともに連携。

#### 4.交通安全

#### 「家庭内教育」

・安全や行先など家庭内での約束事を決め、出かける前の一言声かけの実施。

#### 「安全整備〕

- ・通学路点検での危険個所を学校だけでなく区長さん等を巻き込んだ協力依頼
- ・抜け道やスピード出しやすい危険箇所の地域実態を把握して注意喚起。

・稲作時、水門が開いて危険な時期(6.7.8 月)に「危険」を示す看板掲示検討。



